

飲酒運転撲滅宣言企業

(株)丸二商会 博多の森ドライビングスクール

飲酒運転は、
絶対しない! させない! 許さない!



私たちは宣言します。

○ (株)丸二商会 博多の森ドライビングスクール様の紹介

博多の森ドライビングスクールは、福岡空港のすぐ東側、博多区と隣接した糟屋郡志免町に在り、「交通事故を起こさない安全な運転者の育成」を使命としている福岡県公安委員会から指定を受けた自動車教習所です。業務内容としては、これから普通自動車、大型自動二輪車、普通自動二輪車の免許を取得される方のための初心運転者教育や高齢者講習、原付講習、企業研修等の免許取得者教育を行っています。

その他、地域の交通安全教育センターとして、近隣の小学校や高校へ出向いての「自転車運転等の安全教育」「交通安全講話」等の交通安全教育、並びに小学生通学時の横断歩道における安全誘導や、広報車による近隣のドライバーへの巡回広報活動なども積極的に取り組んでいます。



企業HP :

<http://www.hakatanomori.info/>

○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ① 学校正門に飲酒運転撲滅の桃太郎旗を掲げるとともに、校舎内の受付カウンター、ロビー、通路、食堂等の目につきやすい所に同様のポスターや懸垂幕等を常時掲出しています。また、事務所内や指導員室内にもポスターや懸垂幕等を掲出するとともに、飲酒運転撲滅掲示板を設け、飲酒運転に関する記事を常時掲出しています。
- ② 四季の交通安全県民運動期間中においては、当校敷地内の道路に面したフェンスに「飲酒運転撲滅」の桃太郎旗を多数掲出し、啓発を行っています。
- ③ 毎年、春と秋の交通安全県民運動期間中には、当校（休校日）を1日開放し、警察署とタイアップして交通安全教室や安全運転競技会等を開催していますが、その中で、飲酒ゴーグルを使用した運転や歩行等を実施し、飲酒運転の恐ろしさを自覚していただいています。
- ④ 平成25年10月に志免中央小学校運動場において開催された志免町民大運動会に参加し、職場対抗リレーに出場した際、応援団員が飲酒運転撲滅の桃太郎旗を携行するとともに、社員による「飲酒運転撲滅キャンペーン」「飲酒運転撲滅3ない運動」について呼びかけを行いました。
- ⑤ 当校は粕屋安全運転管理協議会に加入しており、同協議会主催による「交通事故防止コンクール」に毎年参加し、コンクールを通じて社員に飲酒運転撲滅の意識づけをしています。



交通安全県民運動期間中は、「飲酒運転撲滅」のぼり旗を多数掲出しています。



教習車、スクールバスに「飲酒運転撲滅」マグネットシールを貼付しています。

○ (株)丸二商会 博多の森ドライビングスクールの方にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 「交通事故を起こさない安全な運転者を育成する。」という、自動車学校としての使命により、当初から教習生に対する学科教習や技能教習において飲酒運転による恐ろしさを訴えてはいましたが、やはり平成18年8月25日、海の中道大橋での死亡事故が社会問題として大きく取り上げられたことにあります。

さらに、平成23年2月9日、当校の近隣の粕屋町において、当時高校1年生だった2人の命が犠牲になった飲酒運転死亡事故の発生が、私達学校職員の心に大きく響き、平成24年度に飲酒運転撲滅宣言企業の登録制度が始まったことを知り、その年の6月26日付で登録をさせていただき、毎年、春と秋に「シルバードライビングコンテスト」と銘打っての安全運転競技会等で飲酒疑似体験ゴーグルを着用しての体験型の講習を行うなど、多くの講習会等で本格的に力を入れて取り組むようになりました。



飲酒ゴーグルを使用しての運転や歩行することで、飲酒運転の恐ろしさを体験してもらっています。

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A たまに行われる職員同士の懇親会などでも、翌日の出勤者が早めに切り上げたり、飲酒量を控えたり、また、ハンドルキーパーを申し出る者がいたり職員各々が自動車学校職員としての使命を自覚し、自主的かつ積極的に適正な飲酒に心掛けるなど飲酒運転撲滅に取り組んでいます。

「飲酒運転撲滅」のぼり旗を携行し、職場対抗リレーに出場しました。



Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 運転免許を取得するのは飲酒運転をするためではありません。安全で楽しい旅行をできるようにするためです。飲酒運転は、かけがえのない命を簡単に奪ってしまいます。あなたの家族が一瞬にいなくなると想像してください。せっかくこの世に生まれた命が短く終わったらかわいそうですね。絶対に飲酒運転はしてはならないことなのです。

今後も、現在実施している取組を継続していきます。